全修協創立15周年
記念総会開く
2月5・6日伊勢賢島で

財団法人全国修学旅行研究協会は二月五、六日、創立十五周年記念総会（第十二回総会）を三重県賢島の賢島ロッジと賢島荘で開催する。当日は午前十時三十分から正午まで①議長選出②修旅関係物故者への黙祷③理事長挨拶④優秀支部表彰⑤支部長、参与、幹事、地区協議会長委嘱⑥来賓祝辞⑦一般会務、会計監査報告がある。午後一時から同三時まで第一号―第四号議案を審議する。続いて記念講演が行なわれたあと地区会議、幹事会が六時五十分まで開かれ、夜六時から記念の夕べが賢島荘で。翌六日は八時半から地区会議の結果が報告され、議案を可決して終る。午前十時から伊勢方面を見学、午後一時解散の予定。

なお、四日は役員を除く全員が最近話題になっている鈴鹿サーキットの諸施設を全修協調査部と中一央研修部の企画で見学、宿泊する。

中学生七千円 要保護の補助
全修協の運動で 満額近く獲得へ

本年度の要保護、準要保護児童生徒に対する修学旅行費の補助金は大蔵省査定で中学生七千円、小学生三千四百円に決定、国会の通過をまち成立する。前年にくらべると中学生は千二百円、小学生は六百円の大幅アップ。

概算要求では中学生が七千百二十円、小学生三千五百十円だったので本年度は満額に近い線にまで達した。

全修協では昨年十月、修学旅行に深い関心を持つ衆議院議員原田憲氏（前運輸相、現大蔵省）をはじめ福田蔵相に対して増額陳情を、さらに坂田文相、井内初中局審議官、説田財政課長に善処方を強く要望したが、今回の成功はこれら各方面の熱意と努力によってみごと結実したものである。

しかし現実では修学旅行費が高騰しているので、全修協ではさらに増額運動を続ける。

よろこびに寄せて
全修協役員と支部長

誓い合う努力
盛田三喜雄

創立十五周年を迎えてまことにおめでとう存じます。

数々の成果のなかで、万国博をふくめた研修旅行。一万名の完全実施は高く評価されるべきであり、また、全修協の存在と真価を確立したものというべきでありましょう。

今後の発展を祈るとともに同志と共に努力することを誓うものであります。（青森県支部長）

今後もともに
杉山　澄生

賢島の設立総会のとき私は三十六歳。頭に霜をいただくいま、あらためて十五年の歳月をかみしめる想いである。利害打算に無関係の組織が、全国隅れなく整備されて、今後もともに歩めるということは、こよなきよろこびである。（岡山県支部長）

友愛と信義で
石川　為蔵

去る昭和三十年六月二十五日、三重県伊勢志摩の賢島に全国から同志多数馳せ参じ、公益法人としての全修協が誕生し、いらい十五年、設立の趣旨にそって、教育を熱愛し、友愛と信義を基盤とする同志的組織のもとに、修学旅行の改善向上に挺身され、わが国教育振興に寄与されました功績は多大であると存じます。その間、あるいは専用電車の創設、汽船の建造新幹線への切り替えなど、社会の推進とともに善処され、また、教育費父兄負担の節減問題などと取り組まれ、あらゆる困難なる問題を適切に解決され、ことに本年の教職員の研修旅行が参加者一万名を突破したことは画期的なことで教職員の研修と厚生の面で非常な貢献をしました。

二月には祝祭の他、賢島で十五歳の青年期への飛躍を誓う記念総会が盛大に行なわれますことはまことにおめでたいことでありまして、心からお祝いを申しあげる次第であります。（大阪支部長）

感無量な15年
田尻　貴

全修協創立十五周年を心から喜びあいたい。

思えば昭和三十年、呉島に参集して研究組織としての協会を創立、法人格を得て公益法人としての活動に入り、修学旅行の輸送の安全（専用列車、船）教育効果の向上、経費の適正などの実績を積みあげ今日の立場を作りあげた。まことに感無量なるものがある。

この協会が企業的には問題を持ちつつも、研究団体としては果をあげていると考えたい。喜びも悲しみをもともにしてきた十五年、これからもさらに前進せよと祈りたい。（宮崎県支部長）

定着した運動
吉田　一三

新年おめでとうございます。

全修協が創立十五周年を迎えるに当っておよろこび申しあげるとともに"よくぞこれまで成長したもの"といささか当時を思い出して懐旧の念を禁ずることができません。

全国教育委員協議会当時"教育界に何か残そう"と同志が集って始めた教職員の研修旅行、安全かつ快適な修学旅行、そのための専用列車、専用船の設定。これらはすでに遅刻の成果として定着しております。

香川県の教育界も全修協に信頼感を持ち、全面的に努力をいただいています。この際、あらためて深くお礼を申しあげます。

本年は七十年代の第一歩であります。全修協の飛躍と関係者一同のご健康をお祈りします。（香川県支部長）

偉大なあゆみ
芦田重左衛門

全修協創立十五周年。箱根旦雲閣の第一回評議員総会のことなどを思いだします。十五年の歩みが偉大であったことを思うにつけて感謝し、創立十五周年をお祝い申しあげ、万歳を絶唱するものである。（監事）

文化的寄与を
大野　稔

未踏の地を求めて、人類は自らの文化を築いて今日の進歩に導いた。いまなお未踏の地を求め尽そうと願っている。

人が生まれて立てば未踏の地への第一歩を刻む。月の地にも足跡を印した。未踏の地へのあこがれは人間的衝動である。

旅はこの基本的衝動のあらわれである。旅をするのにふさわしい好条件を与えて今日十五周年を迎えた。全修協の存在の意義は大きい。私は十五周年をたたえるとともに全修協が今後ますます教育界への文化的寄与をつづけられるため最大の力を発揮することを祈りたい。（愛媛県支部長）

教育界の指針
伊佐田甚蔵

戦後の国内は混迷をきわめ、世論は一致するところなく、国民は困惑に悩んでいた。そこで同志を糾合し、修学旅行の指導改善を目標とする全修協を組織し、ここに十五年を迎えるにいたった。全教育界は全修協の運動に指針を見出し、また全修協自身も年一年と自信を深め、文部省はもとより教育界各方面の信頼を得て実績をあげつつある。まったく喜ばしい限りというべく、今後の発展を切に祈りたい。（鳥取県支部長）

古く新しい道
魚谷時太郎

創立十五周年、過ぎてみれば十五年は早いものだが、創立に寄せられた努力と熱意は、ながいながい歴史であったと思うと、頭を深くたれて心の底からお祝いの言葉をおくらずにいられません。

この道は古くて新しい道であり、人の子として誰もが歩まねばならない道だとしたら、先輩であるわれわれおとなたちが安心して歩ける"修学旅行"の大道を作ってやらねばなりません。

ご一緒に、さあ、がんばりましょう。先輩とともに。（兵庫県支部長）

十五年の実績
大西　八郎

私が広島県支部長を引受けてから約十か年、前支部長・故山崎正晴氏からの引つぎの言葉は"本協会は公選制時代の教育委員の同志的結合であるからそのつもりで"であった。

はたせるかな、財政的にはさほど豊かな全修協とも思えないが、全国都道府県に実に有力な支部長を擁して、年々多大な実績を挙げて十五周年を迎えることができたことは、まことにうれしいかぎりである。山本理事長を中心とする同志的結合のゆるがぬ限り、本協会の発展はまつべきものあると信じる。（広島県支部長）

独創の花開く
山本　宗間

修学旅行の教育的意義は、長い歴史の中に定着していたが、戦後あらゆる文化価値を否定するムードから批判的空気も出た。全修協は近代的感覚をもってその教育的意義を追求するとともに、専用電車・船を開拓するなど、その独創性は高く評価されるべきであろう。とくに教職員の研修旅行など将来は教師の国際視野をも生むことになるのではないだろうか。私は改めて山本理事長の達見と、情熱に深く敬意を表するものである。（富山県支部長）

偉大な功績を
岡田憲一郎

全修協が誕生してから早や十五年になる。同志のひとりとして山本理事長以下全役職員、協力機関に対して心からお祝いの言葉を捧げたい。十五年の歳月はふりかえってみれば昨日のようにも思えるが、そのあいだに全修協がなしとげた教育界にたいする功績はまことに大きく、とうてい筆舌にはつくしがたい。関東地区の一員として今後も協会発展のために大いにがんばりたい。（埼玉県支部長）

故服にたえぬ
岡本　仁

山本理事長の非凡な手腕によって、創立十五周年を迎えられたことに対し、敬服と慶賀の念、切なるものがあります。山本理事長、おめでとうございました。

昭和三十年六月二十五日、賢島での設立準備会、参会者二十四名。私はその中の一員であったことを静かに回想いたします。遊覧船のガイド嬢が「全修協の皆さん」と第一声を放ったが、第三者による全修協のうぶ声でありました。それから十五年、再び想い出の賢島で、堂々たる総会が開催されることは、まことに偉大な歴史でありましょう。

その十五年間、事務所も三度移転し、事務局長も三代目の白鹿来紀氏を迎え、そこに進展の年輪が刻まれ、本部事務局も日々是新、そこに全修協発展の足跡をみます。

友人を大切にする山本理事長の人生観によって、私はいまだに常務理事の役職をけがしていますが、全修協の発展を祈念して、十五周年の祝辞といたします。（常務理事）

力強い飛躍を
田崎　辰夫

全修協が今日十五周年を迎え、明日からの飛躍を一層力強いものにしようとしているとき、ぼく自身のささやかな喜びや期待が今後も続けられるよう、役員各位のご健在とご研鑽とご努力が確実に実って行くことを全国各地の志を同じくする方々とともに祈っている。（長崎県支部長）

感謝
大野　稔

創立十五周年を迎えるにあたり心からおよろこび申しあげます。修学旅行の改善や研修旅行の実施に努力された功績に対し、敬意を表するとともに将来は財政的にもゆたかな全修協に発展されるようお祈りしてご祝詞といたします。（熊本県支部長）

教育への奉仕
宮本　吉正

すばらしい熱情と忍耐と、綿密固到な計画、常に新しい魅力と企画性、さらに激動する将来への明確な洞察力、これらが渾然一体となって系統的に運営されてこそ永続と発展がある。

本会が火の如き情熱と不動の信念と教育への奉仕のひたすらなる山本理事長の崇高な人柄に支えられ、ここに十五周年をむかえたことは慶祝のいたりである。

この間、全国の児童生徒への修学旅行にたいする教育的貢献度、六十万教職員関係者への知見開発と教育実践のための研修成果の偉大なる業績を高く評価して心から感謝し、創立十五周年をお祝い申しあげ、万歳を絶唱するものである。（監事）

古く新しい道
魚谷時太郎

創立十五周年、過ぎてみれば十五年は早いものだが、創立に寄せられた努力と熱意は、ながいながい歴史であったと思うと、頭を深くたれて心の底からお祝いの言葉をおくらずにいられません。

この道は古くて新しい道であり、人の子として誰もが歩まねばならない道だとしたら、先輩であるわれわれおとなたちが安心して歩ける"修学旅行"の大道を作ってやらねばなりません。

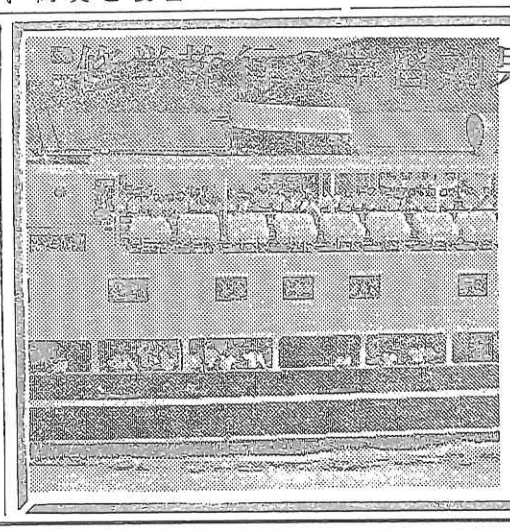
ご一緒に、さあ、がんばりましょう。先輩とともに。（兵庫県支部長）

深甚な敬意を
北条　虎雄

戦後十五年間、教師の人間性を高めるための"見聞を広める"ことに対するご貢献に深甚なる敬意を表します。（栃木県支部長）

お知らせ
全修協役員、支部長の"よろこびに寄せて"は紙面の都合で次号にも掲載いたします。あしからずご諒承ください。

充実した修学旅行
ツーリストをお役立てください
ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として"修学旅行映画"シリーズを製作しております。
◎修学旅行映画シリーズ
奈良　京都　京都の庭園　富士箱根　日光
大和の国なか　大和の塔　火とみどりの国
瀬戸内海　みちのく　大和の道　大和の石
（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）
電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」
近畿日本ツーリスト


果向上のために
全船冷暖房完備の修学旅行専用船
わかば丸・ふたば丸
旅客定員805名・1,100トン
◎一般客との混乗がありません
◎船内での学習や研究ができます
◎海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！
関西汽船
◎お問合せは…大阪(441)9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

先進国と後進国

物価高のアメリカ

―わが外遊記①―

高田治郎

私は十一月七日に羽田を出発して、ホノルルを振り出しに北米、南米、ヨーロッパ、アフリカ、東南アジアなど十二か国十八か所、中継地を入れると三十一か所を回わって、十二月十二日に東京に着いた。

今回で四回目の外遊になるが、今まではヨーロッパやアジアが主で、とくにソ連を含めて西欧諸国は全部回わったが、南北アメリカはまだ一度も行かないので、今度は第一に南北アメリカに、第二にアフリカの奥地や東南アジアなどの後進国を見たいと思った。同行者は同僚議員と二人で、日程などは大体私が作った。同僚は協出身者で英語が出来ないので、私のたよりない英語で入国出国の手続きをしなければならなかったが、何とか無事に帰って来た。

これらの国々の政治、経済、文化などを視察するのだが、現地の案内は日本貿易振興会（ジェトロ）の出先機関にお願いし、不足の時は通訳をたのむことにした。どこの国でもよく案内をしてくれたので一応の収穫があったと思っている。何よりも一度も身体をこわさず楽しい旅行が出来たことを喜んでいる。

旅行業者が出発間ぎわになってエチオピアのアジス・アベバは、カイロからアフリカ航空が予定通り飛ばないので行けないこと、沖縄はビザが出ないので立ち寄れないと云われてちょっと憤慨したが外地で大使館や日本航空に接衝したら、エチオピヤはイベリヤ航空でスーダンのカルツーム経由で行かれたし、沖縄はマニラでやっとビザが取れたので、全日程を完全に旅行出来てよかった。

道路と空港は完備

アメリカはカナダのナイヤガラを含めて十一日間に七か所を回わった。アメリカで誰でも第一に感することは物価の高いことと、自動車や飛行機のための道路や空港の整備が出来ていることである。

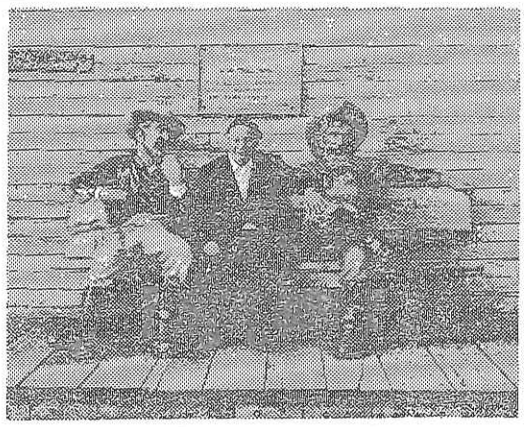
ハワイで日本人二世の通訳をたのんだが、空港の出迎い、見送りと市内観光を半日お願いしただけで八十ドルであった。またワシントンでも日本人の夫人が案内してくれたが、一日で七十五ドルで、ちょうどヨーロッパの倍である。物価は野菜など食料品はそれ程でもないが、一般の商品は日本の二倍か三倍に近い。一ドルの価値は日本では百円位と思えばよいと教えられた。

ロスアンゼルスには北海道の出先機関である貿易センターがあるので、市内のみならず近郊も案内してもらった。ハイウェイが発達しているので、二、三百キロも離れたところでも楽に視察出来る。ロスから西の太平洋海岸の方に出たが、途中新しい郊外の都市開発の状況をみた。工業用地と住宅やショッピング・センターとは相互関連をもって建設が進められていた。日本は住宅と商店街はうまく出来ていると思うが、働く職場とは何の関係もないので通勤時間がかかり過ぎている。

好演出で開拓史を

ディズニー・ランドは休みでとても残念であったが、その代わりに西部開拓の歴史を取り入れた遊園地、子供の国は非常に興味があった。砂金鉱床、開拓鉄道、移民の住宅から酒場、学校、教会、墓地から監獄まで、実物、模型、人形その他をたくみに使って、当時の状況を彷彿とさせるような施設をつくっている。そしてたくさんの子供をつれた大人が来ているがこれらの施設はみんな行動し実演するのである。ザルで砂金さがしをしている者、酒場で踊り子が歌をうたっていたり、学校では先生がいて、入って来た子供に字を教えたり、汽車に乗ったり、監獄で家の中で人形が手や足をくさりでしばられていたり、墓地では墓石をとりまく林の中でガラスが鳴いているといったぐあいである。

子供や大人を一日中、退屈させないで、遊びながら西部開拓の歴史を教えているのには感心した。北海道でも一昨年開拓百年の諸施設を作ったが、子供たちが寄りつかない。北海道の開拓に興味をもつ特殊な者しか行かないような、開拓資料館や記念塔を作っても興味がないとしみじみ思った。―つづく―（全修協理事・北海道支部長、北海道議会議員）



ロス郊外にある遊園地。ここでは西部開拓の歴史を面白く展示している。中央は筆者。

万葉史蹟めぐり ㊲

壱岐島

堀田　勇

天平八年（七三六）の初夏、大使阿倍継麻呂・副使大伴三中という顔ぶれで難波を出航した遣新羅使の一行は遅れ勝ちな船旅を重ねて、秋になってようやく壱岐島に到着した。

君が行く海辺の宿に霧立たば　吾が立ち嘆く息と知りませ

の、別れを惜しむ妻に対して

秋さらば相見むものを何しかも　我が故に思ひなまじそ秋風の吹かむその日は逢はむもの故

と、「秋には帰ってくる」と慰めた使人もあったほどであるがその秋が来てもまだ往路の壱岐島ということであれば、一行の哀愁は情れるひまもなかったろうと想像される。

○…

こうした折、壱岐島出身で下級官吏だったと思える、一行中の一人雪連宅麻呂が伝染病か何かで病死してしまった。これは、ただでさえ意気消沈しているところにさらに悲愁を加えるものであった。次に挙げる作品は、宅麻呂の死を悲嘆愛惜する同行者の訴えの一部である。

石田（いわた）野に宿する君　家人のいづらと我を問はばいかに言はむ

世の中は常かくのみと別れぬる君にやもとな吾が恋ひ行かむ

愛（は）とやし妻も児ども高々に待つらむ君や島かくれぬる

黄葉の散りなむ山に宿りぬる君し待つらむ人し悲しも

昔より言ひ継ぐ言のから国の辛くもここに別するかも

新羅へか家にか帰る壱岐の島行かむたどきも思ひかねつも

一首一首、今は亡き友人への追憶とその家族への同情、さらには明日のわが身の上も考えあわせての、痛々しいまでに悲愁に沈んだ訴えである。

「家族がとでしょうとたず

ねたら何と答えたらよいのだ」には底知れない悲しみがこもり「世の中はこういうものなんだ」は慰めにもならないことで自分を落ち着かせようとしている。「妻や子どもが背のびをして待っているのに」は、宅麻呂の客死の悲しみが胸にしみて、私達も思わず涙をさそわれる。

「辛くも別れる」は沈痛な死者への告別の辞であり、「このまま新羅に行くのか、それとも家に帰るのか、どうすればよいのだ」は途方にくれたその心情の素朴な訴えである。

石田村池田東の低い丘の上に宅麻呂の墓と伝承されている小さな五輪塔がある。モチ・ツバキ・トベラ等が陽の光も透さないまでに生い茂っている。人影ひとつない森は静寂を極め、ときどき聞こえる野鳥の声が、不幸にして客死した宅麻呂を弔問しているかのようである。

墓地の前のゆるやかに傾斜した島の中の小道をくだると、盆地風になった狭い田圃である。万葉集に「石田野」と詠われたところであろう。

石田村の印通寺港は遣新羅使の一行が停泊したところと言われているが、その背後の丘の上に万葉公園がある。「石田野に」の歌碑も立っている。

ここからは、万葉時代防人が烽火をあげたという壱岐島防塁のあった芦の辻や、印通寺港、さらに九州の松浦半島・肥筑の山々も大観できる。しかし、私には、その大景もあまりに寂寞として心の重くなるのが禁じられなかった。【随筆家・写真も。写真は石田野から宅麻呂墓を望む】

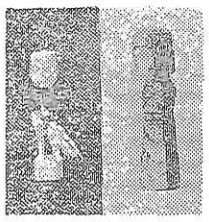
郷土の玩具

幸福をもたらす　ポロロ・ニポポ人形

……北海道

▼いま北海道網走市に住んでいるオロッコ人は旧樺太から引きあげてきた人たちだが、金知、金能の神としてのポロロ（写真左）を大切にしている。すでに郷土人形として市販されてはいるが、手作りなので量産はできない。写真の人形はコロゴロ老人の作品。

▼また、ニポポ（写真右）はアイヌのマスコットとして知られ、"木のこども"、"人形"の意味だという。アイヌが狩猟などに出かけるとき獲物がたくさんとれるようにと祈る。そして獲物はまずニポポの口に捧げる習慣がある。特別な願いごとがかなえられたときは、ニポポの首にきれいなショールを巻いてやる。小さいものはセニシテ・ポポロといい、守護神として身体につける。樺太から引きあげてきた高山長兵衛氏の指導と民俗学者米村喜男衛氏の考証で作られた得がたい郷土人形。（資料・中央研修部）



近畿各県が説明会ひらく

関東地区の各県で

修学旅行地の滋賀県、京都市および奈良県では関東地区各地で受け入れ態勢や現況などについて説明会を開いた。各会場とも中、高校長、教諭がたくさん参加し、満員の盛況だった。

滋賀県と同修学旅行誘致促進協議会（会長＝野崎欣一郎知事）は関東各県教委、関修委、全修協などの後援で一月十一日午後一時から大宮市市民会館で説明会を開いた。

……○……

奈良県、奈良市など関係市町村主催、関東各県教委、中学校長会、全修協などの後援で一月十九日前橋市東電ホール、二十一日埼玉県自治会館、二十二日千葉市県職員会館で"大和路を語る会"を開催した。

……○……

また京都市主催、関東各県教委、全修協後援による現地懇談会は一月二十日千葉ステーションホテル、二十一日浦和埼玉会館、二十二日東京、国立教育会館で開催した。

白樺と四季の花々にかこまれた奥日光湯元温泉

■修学旅行に最も適した設計とゆきとどいた施設が完備

■自然との対話ができる恵まれた環境に建てられた本格的ホテル

■客室63・収容人員700

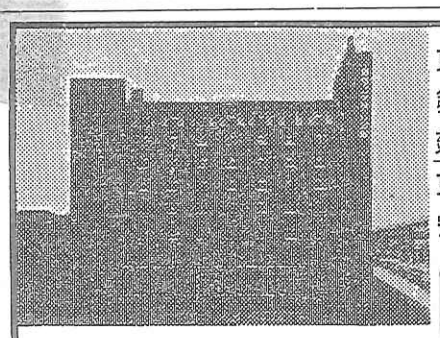
宿泊料金・学生 1,200円から

会議室・暖房設備・駐車場完備

修学旅行の専門旅館

奥日光高原ホテル

奥日光・湯元温泉　でんわ 028862－85(代)



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

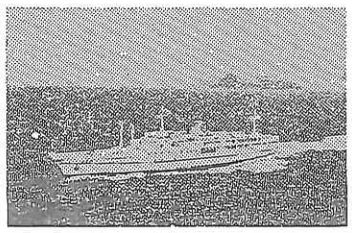
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)

東京 コマ旅行会館

若い心を大きく広げる

豪華観光船 ふじ・にほん丸（旅客定員 1,800名 3,000トン）



見ているだけで、心が大きく広がる海――
修学旅行は海になさいませんか。
日本最大の豪華客船　ふじ・にほん丸が、
生涯忘れえぬ修学旅行へご案内いたします。
純白の船体に若い心をのせて……。

●科学技術の粋をあつめた最新鋭船。
●一流ホテルのような豪華な設備、完全エアコン。
●皆さまのスケジュールにあわせて就航。
●学習講義用TVシステムも完備。
●一般乗客との混乗はありません。

●お問い合わせは●

Ⓐ 大島運輸株式会社 東京支店　東京都中央区日本橋通1の6 浅野ビル ☎(03)273－8911